

図書だより

7月号

岡本小学校 2023年6月30日発行



7月になりました。今年の夏は暑さがとてもきびしいそうです。暑すぎてお休みの日でも、外に出かけることをためらってしまうかもしれません。外にお出かけできないときは、お家でゆっくり読書をしてみませんか？今月もおすすめの本を紹介しします。

なつやす 夏休みのおすすめ

『はんぶんちょうだい』

山下明生 // ぶん

「はんぶんあげるから

てつだって！」でっかい

魚がかかったぞ！みんな

で力をあわせてひっぱりあげると、つれたものとは？

『木かげの家の小人たち』

いぬいとみこ // 作

森山家の末っ子、ゆりに

は秘密の大切な仕事がある。それは、森山家に住んでいる4人のイギリス生まれの小人たちに、かならず毎朝1杯のミルクを届けること。しかし日本は大きな戦争に突入して……。



『ややっ、ひらめいた！』

奇想天外発明百科

マウゴジャタ・ミCHEルスカ // 作

この本では、大昔から現代までの世界中の面白い発明をくわしく説明しています。キャンディ色分け機や空飛ぶドラゴンなど、楽しい発明品がいっぱいです。

『白旗の少女』

比嘉富子 // 作

太平洋戦争末期、激戦の沖縄で7歳の少女がたった一人で戦場をさまよう。奇跡的に生き残った少女の戦争の記録。



し 知ってびっくり！豆知識

チェスをする人形

～実は人が入っていた機械～

この本を参考にしました。



1997年チェスの世界チャンピオン、ガルリ・カスパロフが「IBM社」製のチェス専用コンピュータ「ディープ・ブルー」に負けました。今では将棋でもAIはかせないものになっています。しかしチェスをする機械は18世紀からすでにありました。それが機械人形「ターク」です。

発明したのはハンガリーの哲学者かつ技術者のヴォルフガング・フォン・ケンペレン。女王の宮殿でこの人形を披露したケンペレンは、たちまち「王国一の発明家」と呼ばれるようになりました。ケンペレンと弟子たちはこの人形をつれてヨーロッパ中をめぐり、人形はますます評判になりました。「ターク」はとても強く、300回戦って6回しか負けなかったそうです。とてもよくできた人形でしたが、実際は人形が自分で考えていたのではありませんでした。チェスの名人が機械の中に入って相手と対戦していたのです。たくさんの方が人形の仕組みを見やぶろうとし、1834年、フランスの雑誌が真実を暴きました。

『ややっ、ひらめいた！』

奇想天外発明百科

マウゴジャタ・

ミCHEルスカ // 作
徳間書店

AIが普及した現代、人間はAIに勝ったり人との違いを見やぶったりすることができるようか？あなたはど
う思いますか？



し お知らせ

なつやす
夏休み特別貸し出し

7月14日(木)から夏休み用の図書の貸し

出しを行います。一人4冊まで借りられます。特別貸し出しで借りた本は、8月29日(火)から9月1日(金)までに返しましょう。



今回のテーマは「自分を守る」です。廊下に展示しているので借りた本があれば、先生に声をかけてくださいね。



『しらんぷり』 梅田俊作 // 作 ポプラ社

あなたは、しらんぷりをしたことがありますか。しらんぷりをされたことがありますか。人が人に無関心になったとき、いじめが始まります。いじめ問題を正面から描いた長編絵本です。

『かしこいポリーとはらぺこオオカミ』

キャサリン・ストー // 作 岩波書店

「ポリー、おまえをくってやるぞ!」「いいわ、でもまず、においをかいでみてよ。」「うーん、おいしそうだ。いったいなんのにおいだい。」「チョコケーキよ。」「たべたい!」おおかみはとてもくいしんぼう。毎日やわらかい女の子を食べていると思っています。でもかしこく、心やさしいポリーはいつもあぶないところで逃げてしまいます。ゆかいなお話です。

『ちびまる子ちゃんのあんぜんえほん 1 こうつうあんぜん』

さくらももこ // 原作 山中竜宏 // 監修 金の星社

スポーツをするときに決まりがあるように、道路を歩いたり、自転車や車に乗ったりするときにも決まりがあります。それが「交通ルール」です。交通事故にあわないようにするために、まるちゃんと一緒に交通ルールを勉強しましょう。ほかにシリーズがあります。読んでみてください。

ちしき知識

『いのちと未来を守る防災』 鎌田和宏 // 監修 学研プラス

日本で起こる自然災害から身を守る方法がわかるシリーズ。地震が発生したらまずどうする?どこへ避難する?何を備えておく?など、個人の行動から地域・国の取り組みまでをカラーのマンガと図でわかりやすく解説。今日から使える防災の知識が身につく本です。展示している1巻は地震がテーマです。

『危険・有毒生物』 学研教育出版

この本は危険生物の小さな図鑑です。近づいたり触れたりすると命に関わる「危険・有毒生物」約700種を種類ごとに分け、危険度をマークでわかりやすく示しています。これから夏休み。色々な場所に出かける前に、危険な生き物をチェックしてみませんか?

『こんなときどうする?犯罪から身を守る絵事典』

国崎信江・Kセキュリティ // 著 PHP研究所

みんなにとってあぶない場所や危険な目にあわない方法、悪い人に出会った時の行動の仕方などが書かれていたりしているよ。「自分の身を自分で守る」ことについて自分で考えたり、お父さんやお母さん、学校の先生や友達と話し合ったりしてみよう。

『みんなたいせつ 世界人権宣言の絵本』 東菜奈 // 構成・訳 岩崎書店

1948年12月10日、「世界人権宣言」が国連で採択されました。第二次世界大戦への反省から生まれたこの宣言には、すべての人がしがあわせに、自分らしく生きるための権利が書かれています。自分自身と世界の友だちのことを、この宣言とともに想像してみましょう。「わたしもたいせつ、そしてみんなもたいせつ」、このことを改めて教えてくれる写真絵本です。